

京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書

2025年 8月 31日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団
会 長 藤 洋 作 様

所属部局・研究科	エネルギー科学研究科エネルギー社会・環境科学
職 名・学 年	博士課程三回生
氏 名	澤村 信宏

助 成 の 種 類	令和7年度 ・ 国際研究集会発表助成		
研 究 集 会 名	第14回年次大会:アジア環境資源経済学会		
発 表 形 式	☐ 招 待 ・ ☒ 口 頭 ・ ☐ ポスター ・ ☐ その他(		
発 表 題 目	National Allocation of Carbon Dioxide Emissions from International Shipping		
開 催 場 所	中華人民共和国北京市中国人民大学		
渡 航 期 間	2025年 8月 25日 ~ 2025年 8月 28日		
成 果 の 概 要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版1枚程度で作成し、添付して下さい。 「成果の概要」以外に添付する資料 ☒ 無 ☐ 有()		
会 計 報 告	交付を受けた助成金額	150,000 円	
	使用した助成金額	150,000 円	
	返納すべき助成金額	0 円	
	助成金の使途内訳 (差し支えなければ要した 経費総額をご記入ください)	費 目	金額(円)
		航空運賃	60,576
		宿泊費	41,101
		滞在費	2,400
		学会参加費	66,000
その他	11,000		
以上に助成金を充当			
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) 昨今の世界的インフレ状況下において、航空券、宿泊費、学会参加費が高騰しております。そのため、私費での海外学会参加が非常に困難になっております。その中で、この度助成金を頂けたことに深く感謝致します。 国際会議に参加し、海外の研究者と交流することは非常に意義のあることでして、今後とも同助成事業を続けて頂きたいお願い致します。		

成果の概要／澤村信宏

1. 国際会議について

アジア環境資源経済学会 (The Asian Association of Environmental and Resource Economics: AAERE)の第14回年次大会が、中華人民共和国北京市中国人民大学において開催された。会議は2025年8月26日(火)～27日(水)の二日間の日程で開催され、主に東アジア地域からの出席者が研究結果の発表を行った。同会議は環境に関して、生物多様性から気候変動まで幅広い分野を扱っており、様々なバックグラウンドを持つ研究者が本会議において有意義な議論を行った。来年は同学会と提携関係にあるヨーロッパや米州の学会と2026年6月～7月の間にポルトガル共和国リスボン市において国際会議を共催する予定である。

2. 参加の成果

本国際会議において小生は博士課程研究のサブテーマである”National Allocation of Carbon Dioxide Emissions from International Shipping”に関して、口頭発表を行った。同研究は貿易量の増加や世界経済の成長により、増加の一途をたどる国際海運からの温室効果ガス排出量に国際社会はどのように対応したらよいかに焦点を当てている。具体的には、国連気候変動枠組条約において議論されている国際海運から排出される二酸化炭素の国別割当て策をもとに国別に順位付けを行い、その上で、貿易データ等と対比しながら、どの国がどの程度の負担を負うべきかの考察を行った。口頭発表後、出席者から有意義な質問及びコメントを頂いたため、そこから得られたフィードバックをもとに同研究を今後さらに研鑽して行く予定である。

3. 謝辞

この度、御財団から助成金を頂き、本国際会議に出席し、小生の研究結果を発表することができた。世界的に物価が上昇し、海外の国際学会に参加することが経済的に困難な中、このような機会を与えてくださった御財団への深い感謝の気持ちをここに表明する。



開会式